

## 19. 給油一覧表

給油項目	使用オイル	容量	初期交換時間 (時間)	定期交換時間 (時間ごと)
燃料	自動車用レギュラーガソリン	3.8L		
エンジンオイル	ガソリンエンジン用	0.6L	20	50
動力噴霧機	SAE10W-30 SC級以上	0.6L	50	100
動力噴霧機シリンダ元部	エンジンと同じオイル	3~5滴	始業毎	
各ワイヤ部		適量	50	50
変速機ミッション	ギアオイル#90	1.7L	100	100
クローラ部	シャーシグリス	適量	50	50
各リンク部、ノズル部				
油圧タンク	タービン油 (ISOVG32)	1.6L	50	100

## 20. 長期保管の方法

- 29ページの保守点検項目を一通り点検し、確認します。
- 不具合項目を調整します。(販売店のサービス担当者と十分打合せをした後、依頼してください。)
- 凍結防止による破損防止のため、動力噴霧機のドレンプラグを外し、液を抜いてください。また、ノズルに接続しているホースを外して配管内の液も抜きます。
- 注入用シリンダのロッドにグリスを塗布し、サビ止めします。
- 塗装のはがれた部分は、サンドペーパーなどでサビを落とし、塗料を塗ります。
- 本機の塗装部にワックスを塗り、サビ止めをします。
- 収納は湿気のない場所にします。
- 燃料コックから燃料タンク内の燃料を抜いてください。
- 点火プラグを外してシリンダ内にエンジンオイルを2~3cc入れ、リコイルスタータグリップを引いてクランク軸を回します。点火プラグを取付け、圧縮のある位置で止めます。
- バッテリーのマイナス端子を外します。
- シートをかけるときは本機がよく乾いてからかけてください。また、エンジンが冷えてからかけないと火災の恐れがあります。

### ⚠ 危険

- 燃料を抜くときは火気厳禁で行ってください。
- こぼれた燃料はすぐにふき取ってください。火災の原因になります。

### 注意

- 30日以上使用しないときは燃料を抜いてください。燃料が変質し、気化器が故障して始動困難になります。
- オイルは使用しないままでも自然に劣化します。6ヶ月に一度は新しいオイルと交換してください。